

今後多額の収支不足が…?!

■ 厳しい財政状況

景気の低迷など市を取り巻く環境が、財政状況に大きく影響しています。`厳しい、`といわれる要因は次の通りです。

【歳入】=入ってくるお金

- ◎市に入ってくるお金の基本となる「市税」の収入は、大きく増えることが見込めない。
- ◎国の「三位一体の改革」の影響などで、地方交付税など国から入ってくるお金は、大幅に減少することが見込まれる。

【歳出】=使うお金

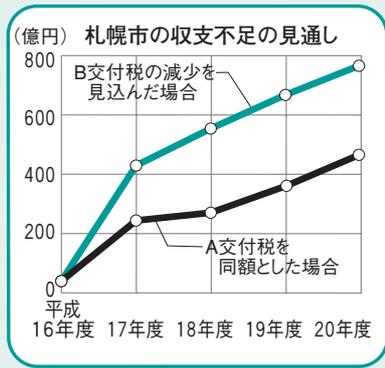
- ◎不況などの影響で、著しい伸びを示す生活保護費などの福祉の経費や地下鉄事業の繰出金などが増加している。

結果 歳入の増加は見込めず、行政サービスに必要な経費は増えている

↓
厳しい財政状況

■ 4年後の見通し

今後4年間の財政状況の見通しを、二つの場合から試算してみました。



市に入ってくるお金(歳入)の一つである地方交付税を

A = 16年度と同じ額とした場合

B = 徐々に減っていくとした場合

※どちらの場合も、使うお金(歳出)は、それぞれの経費の伸び率を考慮するなどして試算。

結果 Aの場合で500億円程度、Bの場合で800億円程度の収支不足が見込まれる

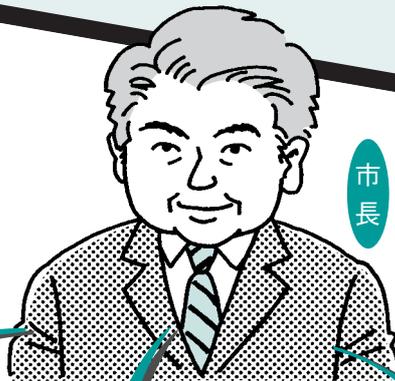
※地方交付税=国から市に配分されるお金の一つ

【詳細】 総務資金課 ☎211-2216



これまでの助役、新年度からは副市長となる3人を紹介します。

副市長は どのような人?



市長



副市長 小澤 正明

私が担当する重点政策は、**経済・福祉**などです

受け持っている局は

財政局、保健福祉局、子ども未来局、経済局、観光文化局、南・西・手稲区、市立病院、教育委員会ほか



副市長 福迫 尚二

私が担当する重点政策は、**環境**などです

受け持っている局は

企画調整局、環境局、建設局、下水道局、交通局、水道局、白石・厚別・豊平・清田区



副市長 田中 賢龍

私が担当する重点政策は、**市民自治・市役所改革**などです

受け持っている局は

危機管理対策室、総務局、市民局、都市局、消防局、中央・北・東区、会計室、選挙管理委員会ほか

機構「ニューズ1」

「助役を副市長に！」

これまでの3人の助役を4月から「副市長」という呼び方に変更しました。この「副市長制度」のねらいは、①役

割を市民に分かりやすくすること、②スピード感ある市政運営を行うこと。市長から副市長へ、副市長から局長・区長へとこれまでの権限を移し、より現場の近くで意思決定をすることで、事務処理のスピード向上を図ります。

【詳細】

市役所改革推進室 ☎211-2061